

施工状況実態調査

調査票

記入例

本調査は、公共建築工事の施工実態を把握することを目的とし、公共建築工事の積算基準に反映するために実施しているものです。また、労務費の基準の設定にも活用される可能性があるものです。
調査票の記入結果については国土交通省における検討以外の目的には使用せず、また外部には公開いたしません。主旨をご理解いただき、事実をありのままご回答下さい。

- 提出いただいたデータの取扱いについて
ご提出いただいたデータは本調査の目的以外に使用することなく、
秘密保持に努め、情報漏洩等が無いよう十分注意し取り扱い致します。

国土交通省 大臣官房 官庁営繕部

【概要】全体調査票

このページは、1工事（案件）につき、1枚作成して下さい。

記入例

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色色の箇所は記入するようお願いします。

複雑：例えば、上層階がセットバックしている建物などです。内部が複雑な建物のことではありません。
外形が単純（外形が、基準階から最上階まで概ね同一平面の多いものは、内部の間仕切りが同一でない場合でも「単純」して下さい。

【就労形態】

- ▼をクリックして以下から選択
- ①: 4週8閉所
- ②: 4週7閉所
- ③: 4週6閉所
- ④: 4週5閉所
- ⑤: 4週4閉所
- ⑥: その他

【建物種別】

- ▼をクリックして以下から選択
- 事務所・庁舎
- 共同住宅
- 学校
- 研究所
- 福祉施設
- 病院
- 体育館
- その他

【構造】

- ▼をクリックして以下から選択
- RCラーメン構造
- SRCラーメン構造
- RC壁式構造
- その他

【階高】

- ▼をクリックして以下から選択
- 2.8m程度
- 3.5～4.0m程度
- 5.0m程度
- その他

1. 会社区分

貴社該当区分	総合工事業者
--------	--------

2. 施工概要

施工会社名・支店名	(株)〇〇建設・〇〇支店	所在地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 東京都中央区日本橋〇〇町〇-〇																																													
TEL	03-1234-5678	FAX	03-1234-5679																																													
御担当者	建設 太郎	E-mail	〇〇〇@〇〇〇.or.jp																																													
工事名	〇〇総合庁舎					【工期】 ▼から「年」「月」「日」を選択																																										
施工場所	東京都																																															
工期	2022年4月1日 から	契約金額 (税抜)	¥100,000,000																																													
	2023年3月31日 まで																																															
就労形態	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ()																																															
建物種別	学校																																															
構造	RCラーメン構造																																															
階高	3.5～4.0m程度																																															
形状	単純（基準階から最上階まで同一平面の多いもの）																																															
延床面積 (m2)	3337m2		階数	地下	0	地上	4																																									
	<table border="1"> <tr> <td>時間的制約の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (近隣住民との協議で9：00～17：00)</td> </tr> <tr> <td>交通規制の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (近くに小学校あり)</td> </tr> <tr> <td>作業ヤード狭隘の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (大型車での資材搬入不可)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> </table>							時間的制約の有無	有	有の場合	： (近隣住民との協議で9：00～17：00)				交通規制の有無	有	有の場合	： (近くに小学校あり)				作業ヤード狭隘の有無	有	有の場合	： (大型車での資材搬入不可)				その他		具体的な内容	： ()				その他		具体的な内容	： ()				その他		具体的な内容	： ()		
時間的制約の有無	有	有の場合	： (近隣住民との協議で9：00～17：00)																																													
交通規制の有無	有	有の場合	： (近くに小学校あり)																																													
作業ヤード狭隘の有無	有	有の場合	： (大型車での資材搬入不可)																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													
施工制約および施工障害	<table border="1"> <tr> <td>時間的制約の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (近隣住民との協議で9：00～17：00)</td> </tr> <tr> <td>交通規制の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (近くに小学校あり)</td> </tr> <tr> <td>作業ヤード狭隘の有無</td> <td>有</td> <td>有の場合</td> <td colspan="4">： (大型車での資材搬入不可)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>具体的な内容</td> <td colspan="4">： ()</td> </tr> </table>						時間的制約の有無	有	有の場合	： (近隣住民との協議で9：00～17：00)				交通規制の有無	有	有の場合	： (近くに小学校あり)				作業ヤード狭隘の有無	有	有の場合	： (大型車での資材搬入不可)				その他		具体的な内容	： ()				その他		具体的な内容	： ()				その他		具体的な内容	： ()			
時間的制約の有無	有	有の場合	： (近隣住民との協議で9：00～17：00)																																													
交通規制の有無	有	有の場合	： (近くに小学校あり)																																													
作業ヤード狭隘の有無	有	有の場合	： (大型車での資材搬入不可)																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													
その他		具体的な内容	： ()																																													

3. 記入内容に関する問い合わせ先

・鉄筋工事担当者

会社名	(株)●●鉄筋	所在地	〒 ●●●-●●●● 東京都中央区日本橋●●町●-●			
TEL	03-1234-5678	FAX	03-1234-5600			
御担当者	●●●●	E-mail	●●●●@●●●●.or.jp			

・圧接工事担当者

会社名	(株)▲▲圧接	所在地	〒 ▲▲▲-▲▲▲▲ 東京都中央区日本橋▲▲町▲-▲			
TEL	03-5678-9101	FAX	03-5678-9100			
御担当者	▲▲▲▲	E-mail	▲▲▲▲@▲▲▲▲.or.jp			

・型枠工事担当者

会社名	(株)■ ■工務店	所在地	〒 ■ ■ ■-■ ■ ■ ■ 東京都中央区日本橋■ ■ 町■ ■ ■			
TEL	03-2468-1357	FAX	03-2468-1300			
御担当者	■ ■ ■ ■	E-mail	■ ■ ■ ■@■ ■ ■ ■.or.jp			

【施工制約および施工障害】
(時間的制約の有無・交通規制の有無・作業ヤード狭隘の有無)
▼をクリックして以下から選択
・有
・無

【鉄筋工事】

次のシート以降に必要な事項をご回答下さい。

【様式1-1】施工箇所別概要	記入例	鉄筋
-----------------------	-----	----

建物1棟を施工するに当たり、鉄筋量総量で作業員何人で何日かかるか、また、運搬費などの歩掛りを把握するための調査票です。下記項目について該当する部分のみご回答下さい。

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

1. 総合工事業者と1次下請問の鉄筋工事の契約金額（材料費別、税抜き）をご回答下さい。

¥18,000,000	円
-------------	---

2. 上記契約金額は、次のどちらの数量で契約していますか。①設計数量（ロスを含まない）、②ロスを含んだ数量

②ロスを含んだ数量

【契約金額の数量】▼をクリックして以下から選択

- ・①設計数量（ロスを含まない）
- ・②ロスを含んだ数量

3. 工事全体の数量をご回答下さい。上記2で選択した数量をご回答下さい。

項目		単位	細物 (D10~D16)	大物 (D19~)	スパイラル筋
工場加工	工事全体の施工日数	日	106	30	
	工事全体の施工量	t	181.628	129.375	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	8.5	8.5	
現場加工	工事全体の施工日数	日			
	工事全体の施工量	t			
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日			
現場組立	工事全体の施工日数	日		73	
	工事全体の施工量	t		311.003	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日		8.5	
コンクリート合番 (コンクリート打設時の鉄筋点検保守)	工事全体の合番日数	日		5	
	工事全体の合番時間	時間		40	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日		1	
雑費	専用機械の損料	円			
	製作図等（鉄筋加工図、組立図、施工要領書、自主検査、配筋検査立ち会い）	円			
工場管理費率	※「様式1-2」でご回答下さい	%			
諸経費率	※「様式1-2」でご回答下さい	%			

合計日数をご回答下さい。

合計施工量をご回答下さい。

1日当たりの平均作業員数をご回答下さい。

現場加工を行っていない場合は記入不要です。

現場合わせの切断加工等は、組立に含めて下さい。

雑費は、当該工事で計上する金額をご回答下さい。

項目		単位	鉄筋運搬
鉄筋運搬	工事全体の運搬量	t	35.079
	運搬距離 加工場~現場 片道	km	30
	運搬区分 (自社)	-	-
	運転手 (一般)	延べ人数	
	運搬台数 (4 t 車)	延べ台数	
	(10 t 車)	延べ台数	5
	その他 ()	延べ台数	
	積載量 (4 t 車)	t/台	
	(10 t 車)	t/台	
	その他 ()	t/台	
	運搬区分が「外注」の場合 (その他 ※下記に記入)	円/t	
	その他 (7 t)		
	細物 (D10~D16) 積載率 運搬車両1台当たり	%	70%
大物 (D19~) 積載率 運搬車両1台当たり	%	80%	

【運搬区分】▼をクリックして以下から選択

- ・自社
- ・外注

【運転手】▼をクリックして以下から選択

- ・一般
- ・特殊

【運搬区分が「外注」の場合】▼をクリックして以下から選択

- ・4 t 車
- ・7 t 車
- ・その他 ※下記に記入

運搬区分で外注を選択し、台数や積載量等の記入が出来ない場合は、運搬費をご回答下さい。

トラック一台の積載可能数量に対して、空率等を加味した実際の積載可能量を%でご回答下さい。

【様式1-2】工場管理費率 および 諸経費率	記入例	鉄筋
-------------------------------	------------	-----------

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

各種経費について貴社の率をご回答下さい。

・鉄筋工場加工

①工場管理費率	(労務費+雑費) ×	45	%	
②諸経費率	(労務費+雑費+工場管理費) ×	25	%	

・鉄筋現場加工

②諸経費率	(労務費+雑費) ×	25	%	
-------	------------	----	---	--

・鉄筋組立

②諸経費率	(労務費+雑費) ×	25	%	
-------	------------	----	---	--

※各率の内訳は下表による。

対象となる項目は、○を選択して下さい。

①工場管理費の内訳 記入された率を含む項目は対象欄から○を選択して下さい。

	工場管理費の項目	内容	対象
1	間接労務費	クレーン運転、動力、営繕、倉庫、材料整理、場内運搬、機器整備、保安、雑務	<input type="checkbox"/>
2	従業員給与手当	工場所属事務技術員の給料、工場所属全従業員の賞与、退職給与、有給休暇賃金、時間外割増	<input type="checkbox"/>
3	工場消耗品	消耗品等の費用	<input type="checkbox"/>
4	事務用品費	事務用消耗品、新聞、参考図書等の購入費	<input type="checkbox"/>
5	修繕維持費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	<input type="checkbox"/>
6	通信費	通信費	<input type="checkbox"/>
7	旅費交通費	交通費および旅費	<input type="checkbox"/>
8	会議費	会議に要する費用	<input type="checkbox"/>
9	交際費	来客等の対応に要する費用	<input type="checkbox"/>
10	法定福利費	従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の法定の事業主負担額等に要する費用	<input type="checkbox"/>
11	福利厚生費	工場の従業員に対する慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞い等福利厚生、文化活動等に要する費用	<input type="checkbox"/>
12	動力用水光熱費	工場における電気料、水道料、ガス料、重油等燃料費等に要する費用	<input type="checkbox"/>
13	印刷製本費	工場における資料のコピー、写真、印刷製本等に要する費用	<input type="checkbox"/>
14	各種試験費	製品、材料、機械等の検査料および製品開発、研究、設計、試作等に要する費用	<input type="checkbox"/>
15	教育訓練費	工場における技能養成、啓発、資格取得、安全訓練等に要する費用	<input type="checkbox"/>
16	地代家賃	工場の土地、建物等の借地借家料に要する費用	<input type="checkbox"/>
17	賃借料	リース料、レンタル料など物品を賃借するための費用	<input type="checkbox"/>
18	保険料	工場の建物、機械、自動車等の損害保険料、火災保険に要する費用	<input type="checkbox"/>
19	租税公課	固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課。ただし、機械経費の機械器具等損料に計上された租税公課は除く。	<input type="checkbox"/>
20	減価償却費	工場の有形固定資産、無形固定資産、繰延資産等の減価償却額	<input type="checkbox"/>
21	製作外注経費	製品の加工・塗装等を専門業者等に外注する場合に必要な費用	<input type="checkbox"/>
22	工場内運搬費	製品の工場内運搬等に要する費用、製品の輸送に伴う荷造り費	<input type="checkbox"/>
23	図書費	専門書籍購入費用、官報購入費用、統計資料の購入費用、雑誌の購入費用、定期購読費用	<input type="checkbox"/>
24	諸会費	業務に必要な同業者団体、商工会議所、町内会、法人会などの団体に支払った会費用	<input type="checkbox"/>
25	電算費		<input type="checkbox"/>
26	雑費	1～25までに属さない諸費用 ()	<input type="checkbox"/>

対象となる項目は▼をクリックして「○」を選択

【様式1-2】工場管理費率 および 諸経費率	記入例	鉄筋
-------------------------------	------------	-----------

②諸経費の内訳 記入された率を含む項目は対象欄から○を選択して下さい。

②-1 現場管理費の項目	内容	対象
1 労務管理費	現場雇用労働者（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する労働者）および現場労働者（再下請を含む下請負契約に基づき現場労働に従事する労働者）の労務管理に要する費用 ・募集および解散に要する費用 ・慰安、娯楽および厚生に要する費用 ・純工事費に含まれない作業用具および作業用被服等の費用 ・賞金以外の食事、通勤費等に要する費用 ・安全、衛生に要する費用および研修訓練等に要する費用 ・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○
2 租税公課	工事契約書等の印紙代、申請書・謄抄本登記等の証紙代、固定資産税・自動車税等の租税公課、諸官公署手続き費用	○
3 保険料	火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、賠償責任保険および法定外の労災保険の保険料	○
4 従業員給与手当	現場従業員（元請企業の社員）および現場雇用労働者の給与、諸手当（交通費、住宅手当等）および賞与施工図等作成費施工図等を外注した場合の費用	○
5 退職金	現場従業員に対する退職給付引当金繰入額および現場雇用労働者の退職金	○
6 法定福利費	雇用労働者および現場労働者に関する次の費用 ・現場従業員、現場雇用労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額 ・現場労働者に関する労災保険料の事業主負担額 ・建設業退職金共済制度に基づく証紙購入代金	○
7 福利厚生費	現場従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、慶弔見舞等に要する費用	○
8 事務用品費	事務用消耗品費、OA機器等の事務用備品費、新聞・図書・雑誌等の購入費、工事写真代等の費用	○
9 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
10 補償費	工事施工に伴って通常発生する騒音、振動、濁水、工事用車両の通行等に対して、近隣の第三者に支払われる補償費。ただし、電波障害等に関する補償費を除く。	○
11 その他	会議費、式典費、工事実績の登録等に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用	○

②-2 一般管理費等の項目	内容	対象
1 役員報酬	取締役および監査役に要する報酬および賞与（損金算入分）	○
2 従業員給与手当	本店および支店の従業員に対する給与、諸手当および賞与（賞与引当金繰入額を含む。）	○
3 退職金	本店および支店の役員および従業員に対する退職金（退職給付引当金繰入額および退職年金掛金を含む）	○
4 法定福利費	本店および支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額	○
5 福利厚生費	本店および支店の従業員に対する慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等の福利厚生等に要する費用	○
6 維持修繕費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○
7 事務用品費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品、新聞参考図書等の購入費	○
8 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
9 動力用水光熱費	電力、水道、ガス等の費用	○
10 調査研究費	技術研究、開発等の費用	○
11 広告宣伝費	広告、公告又は宣伝に要する費用	○
12 交際費	得意先、来客等の接待、慶弔見舞等に要する費用	○
13 寄付金	社会福祉団体等に対する寄付	○
14 地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○
15 原価償却費	建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○
16 試験研究償却費	新製品又は新技術の研究のための特別に支出した費用の償却額	○
17 開発償却費	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発並びに市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	○
18 租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税および道路占有料その他の公課	○
19 保険料	火災保険その他の損害保険料	○
20 契約保証費	契約の保証に必要な費用	○
21 雑費	社内打合せの費用、諸団体会費等の上記のいずれの項目にも属さない費用	○
22 付加利益	法人税、都道府県民税、市町村民税等（租税公課に含まれるものを除く） 株主配当金 役員賞与（損金算入分を除く） 内部留保金・支払利息および割引料、支払保証料その他の営業外費用	○

【様式 1 - 3】使用材料等調査票	記入例	鉄筋
---------------------------	------------	-----------

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

※工事全体の使用材料をご回答下さい。

※設計数量とは、図面上のロスを含まない計算（計画）数量とします。

所要数量とは、ロス等を含んだ数量とします。

契約の方法に関わらず、両方ともご回答下さい。

■主材料

番号	名称	規格	径	区分	単位	全体使用数量	
						設計数量	所要数量
1	異形棒鋼	SD295	D10	元請支給品	t	67.723	70.432
2	異形棒鋼	SD295	D13	元請支給品	t	91.364	95.018
3	異形棒鋼	SD295	D16	元請支給品	t	15.555	16.177
4	異形棒鋼	SD345	D19	元請支給品	t	6.816	7.088
5	異形棒鋼	SD345	D22	元請支給品	t	26.805	27.877
6	異形棒鋼	SD345	D25	元請支給品	t	90.778	94.409
7	異形棒鋼			元請支給品	t		
8	異形棒鋼			元請支給品	t		
9	異形棒鋼			元請支給品	t		
10	異形棒鋼			元請支給品	t		
11	異形棒鋼			元請支給品	t		
12	異形棒鋼			元請支給品	t		
13	異形棒鋼			元請支給品	t		
14	異形棒鋼			元請支給品	t		
15	異形棒鋼			元請支給品	t		
16	異形棒鋼			元請支給品	t		
17	異形棒鋼			元請支給品	t		
18	異形棒鋼			元請支給品	t		
19	異形棒鋼			元請支給品	t		
20	スパイラル筋			元請支給品	t		
21							
22	高強度鉄筋	SD590		元請支給品	t		
23	閉鎖型せん断補強筋			元請支給品	t		
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
	小計					299.0	311.0

規格と径を選択して、数量をご回答下さい。

契約の方法に関わらず、設計数量、所要数量を両方ともご回答下さい。

- 【径】
▼をクリックして以下から選択
- ・D10
 - ・D13
 - ・D16
 - ・D19
 - ・D22
 - ・D25
 - ・D29
 - ・D32
 - ・D35
 - ・D38
 - ・D41
 - ・D51

- 【規格】
▼をクリックして以下から選択
- ・SD295
 - ・SD345
 - ・SD390
 - ・SD490
 - ・SD590
 - ・SD685

上記以外の材料を使用する場合、ご回答下さい。

■補助材

番号	名称	規格・メーカー名・型式	単価	単位	全体使用数量	
					設計数量	所要数量
31	結束線			kg		
32	スペーサー（合成樹脂製）			個		
33	スペーサー（鋼製）			個		
34	バー型スペーサー			個		
35	バー型スペーサー			個		
36						
37						
38						
39	機械式継手	D25		組	400	
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						

■補助材の率

単価のご記入が難しい場合、労務費に対する率でご回答下さい。

(労務費) × 15 %

- 【保有区分】
▼をクリックして以下から選択
- ・自社保有
 - ・リース

2. 工事全体の使用機械をご回答下さい。

番号	使用機械	規格・メーカー名・型式	保有区分	単位	延べ使用台数
47	鉄筋曲機		自社保有	台	
48	鉄筋切断機		自社保有	台	
49	鉄筋加工台			台	
50	機械結束機			台	
51					
52					

【様式2-1】歩掛り調査票（工場加工）

記入例

鉄筋

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

本調査票には、様式1-1工場加工の内訳についてご回答下さい。

当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。

複数の工事の鉄筋加工を同時に実施している等の理由により標準的な労務編成の記入が難しい場合は、当該工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

1. 細物（D10～D16）

細物 (D10～D16)		項目等		数量等	備考		
全般	工場加工でかつた合計日数	10	日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。			
日当り施工量等	工場加工の日当り加工重量（平均）	1.7	t/日	0.2 t / 人 * 8.5人 = 1.7t/日			
施工時間	現場始業時間	8:00		朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。			
	現場終業時間	17:00		当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。			
	朝礼・K Y等時間	10分					
	準備・片付け	15分					
	休憩時間（昼休み含む）	120分					
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）	7時間00分					
員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	番号	職種	主たる作業 作業内容 作業時間	主たる作業以外 作業内容 作業時間	年齢	経年数	備考
	1	鉄筋工	工場加工 7時間00分		41～50歳	20年以上	
	2	鉄筋工	工場加工 7時間00分		31～40歳	10～20年未満	
	3	鉄筋工	工場加工 7時間00分		41～50歳	20年以上	
	4	鉄筋工	工場加工 7時間00分		31～40歳	10～20年未満	
	5	鉄筋工	工場加工 5時間00分	水平小運搬 2時間00分	41～50歳	10～20年未満	
	6	鉄筋工	工場加工 7時間00分		61～70歳	20年以上	
	7	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		21～30歳	3～7年未満	
	8	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		15～20歳	0～3年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14	鉄筋工	工場加工 3時間30分		41～50歳	20年以上	
15							
機械器具等 機械編成 （主要・補助機械） 【平均一日当り】	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考	
	1	鉄筋曲機	自社保有	7 h/日	5 台		
	2	鉄筋切断機	自社保有	7 h/日	2 台		
	3	鉄筋加工台	自社保有	7 h/日	3 台		
	4	機械結束機	自社保有	1 h/日	2 台		
	5	●●●	リース	1 h/日	2 台	・運転時間は、機械の運転時間（片付けを含み、休憩時間を除きます）	
	6						
7							

注）労務編成人員の作業内容は、

リース・レンタルとは、元請または下請が、当該工事の作業に必要とする機械器具を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。
・以下の標題についても同様です。

・標題作業の1日についてご回答下さい。
・以下の標題についても同様です。

【職種】▼をクリックして以下から選択
・鉄筋工
・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
・工場加工
・加工組立
・水平小運搬

【経年数】▼をクリックして以下から選択
・0～3年未満
・3～7年未満
・7～10年未満
・10～20年未満
・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
・15～20歳
・21～30歳
・31～40歳
・41歳～50歳
・51歳～60歳
・61歳～70歳
・71歳以上

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
・鉄筋曲機
・鉄筋切断機
・鉄筋加工台
・機械結束機

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
・自社保有
・リース

入力手順：1
・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
・休憩時間を選択します。
・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。※3時間30分の場合は、3:30 と入力して下さい。
（工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【様式2-2】歩掛り調査票（現場加工）

記入例

鉄筋

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

本調査票には、様式1-1現場加工の内訳についてご回答下さい。
当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。

標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

・現場で加工しない場合は、記入不要です。
（工場加工のみご回答下さい。）
・現場合わせの切断加工等は、組立に含めて下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。
・以下の標題についても同様です。

1. 細物（D10～D16）

細物 (D10～D16)		項目等		数量等		備考	
全般	現場加工でかかった合計日数	22	日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。			
日当り施工量等	現場加工の日当り加工重量（平均）	10	t/日				
施工時間	現場始業時間	8:00		朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。			
	現場終業時間	17:00		当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。			
	朝礼・K Y等時間	10分					
	準備・片付け	10分					
	休憩時間（昼休み含む）	120分					
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）	7時間00分					
員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	番号	職種	主たる作業 作業内容 作業時間	主たる作業以外 作業内容 作業時間	年齢	経験年数	備考
	1	鉄筋工	現場加工 6時間30分		41～50歳	20年以上	
	2	鉄筋工	現場加工 6時間00分		31～40歳	10～20年未満	
	3	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		41～50歳	20年以上	
	4	鉄筋工	現場加工 7時間00分		41～50歳	10～20年未満	
	5	鉄筋工	現場加工 6時間00分	水平小運搬 1時間00分	41～50歳	10～20年未満	
	6	鉄筋工	現場加工 7時間00分		61～70歳	20年以上	
	7	鉄筋工	現場加工 7時間00分		21～30歳	3～7年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
	8	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		15～20歳	0～3年未満	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14	鉄筋工	現場加工 3時間30分		41～50歳	20年以上	
15							
機械器具等 機械編成（主要・補助機械） 【平均一日当り】	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考	
	1	鉄筋曲機	自社保有	5 h/日	2 台		
	2	鉄筋切断機	自社保有	2 h/日	4 台		
	3	鉄筋加工台	自社保有	3 h/日	2 台		
	4	機械結束機	自社保有	4 h/日	1 台	・運転時間は、機械の運転時間平均、片付けを含み、休憩時間を除きます。	
	5						
	6						
7							

注) 労務 編成人員の作業内容は、必ず

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【職種】▼をクリックして以下から選択
・鉄筋工
・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
・現場加工
・加工組立
・水平小運搬

入力手順：1
・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
・休憩時間を選択します。
・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。 ※3時間30分の場合は、3:30 と入力して下さい。
（工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
・0～3年未満
・3～7年未満
・7～10年未満
・10～20年未満
・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
・15～20歳
・21～30歳
・31～40歳
・41歳～50歳
・51歳～60歳
・61歳～70歳
・71歳以上

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
・鉄筋曲機
・鉄筋切断機
・鉄筋加工台
・機械結束機

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
・自社保有
・リース

【様式2-3】歩掛り調査票（現場組立）

記入例

鉄筋

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

・外注の方も含めてご記入下さい。

本調査票には、様式1-1現場組立の内訳についてご回答下さい。
 当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。
標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。
 ・以下の標題についても同様です。

1. 現場組立

項目等		数量等		備考			
全般	現場組立でかかった合計日数	73	日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。			
日当り施工量等	現場組立の日当り組立重量（平均）	4.25	t/日	0.5 t / 人 * 8.5人 = 4.25t/日			
施工時間	現場始業時間	8:00		朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。			
	現場終業時間	17:00		当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。			
	朝礼・K Y等時間	10分					
	準備・片付け	10分					
	休憩時間（昼休み含む）	120分					
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）	7時間00分					
員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	番号	職種	主たる作業 作業内容 作業時間	主たる作業以外 作業内容 作業時間	年齢	経験年数	備考
	1	鉄筋工	組立 7時間00分		41~50歳	20年以上	
	2	鉄筋工	組立 7時間00分		41~50歳	20年以上	
	3	鉄筋工	組立 7時間00分		41~50歳	20年以上	
	4	鉄筋工	組立 7時間00分		31~40歳	10~20年未満	
	5	鉄筋工	組立 4時間10分	水平小運搬 2時間50分	41~50歳	10~20年未満	
	6	鉄筋工	組立 7時間00分		61~70歳	20年以上	
	7	鉄筋工	組立 7時間00分		21~30歳	3~7年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
	8	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		15~20歳	0~3年未満	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14	鉄筋工	組立 3時間30分		41~50歳	20年以上	
15							
機械器具等 機械編成（主要・補助機械） 【平均一日当り】	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備	
	1	機械結束機	自社保有	7 h/日	2	台	
	2					台	
	3					台	
	4					台	
	5		自社保有	5 h/日	2	台	
	6					台	
7					台		

【職種】▼をクリックして以下から選択
 ・鉄筋工
 ・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
 ・組立
 ・水平小運搬

入力手順：1
 ・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
 ・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
 ・休憩時間を選択します。
 ・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
 ・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
 ・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
 ・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
 ・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
 ・応接等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。※3時間30分の場合は、3：30 と入力して下さい。
 （工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
 ・0~3年未満
 ・3~7年未満
 ・7~10年未満
 ・10~20年未満
 ・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
 ・15~20歳
 ・21~30歳
 ・31~40歳
 ・41歳~50歳
 ・51歳~60歳
 ・61歳~70歳
 ・71歳以上

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
 ・自社保有
 ・リース

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
 ・鉄筋曲機
 ・鉄筋切断機
 ・鉄筋加工台
 ・機械結束機

注) 労務 編成人員の作業内容は、必ずご

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【様式3】施工実態に関するアンケート	記入例	鉄筋
---------------------------	-----	----

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

鉄筋工事は平成11年度より市場単価方式に移行していますが、移行後から現在に至るまでに技術基準等の改定、新技術・新工法の開発による技術動向の変化、社会的環境の変化等により、施工実態に変化はありましたか。

変化があった場合、下記項目について影響の有無を選択し、影響がある場合に生産性が向上したか低下したかに○をつけて下さい。

また、具体例についてもご回答下さい。

■施工実態の変化について

約20年前と比較して、施工実態に変化がありましたか？

変化あり 変化なし

対象となる項目の▼をクリックして「○」を選択
選択（どちらかひとつを選択）

項目	影響の有無	生産性向上	生産性低下	具体例
① 加工場作業の増加および組立によるユニット化	有	○		
② 現場組立作業の合理化（現場内仮組立など）	有	○		
③ 結束作	無			
④ 圧接工	有	○		A級継手の採用により施工性向上
⑤ 機械式継手の導入	有	○		圧接を段取りする手間が省ける
⑥ 空調服の導入	無			
⑦ コロナの影響	無			
⑧ 高齢化による影響	有		○	体力の低下で生産性低下
⑨ 担い手不足	無			
⑩ 外国人材（技能実習生を含む）	無			
⑪ 週休2日（4週8閉所、6閉所などの休日の増加）	無			
⑫ 暑さ、寒さ等の気候による歩掛りへの影響	有		○	夏は鉄筋が熱くなり気を付けないと火傷する。
⑬ 休憩時間の増加	無			
⑭ 地域による歩掛りへの影響	無			
⑮ 現場のストックヤードや作業スペースの減少	無			
⑯ 運搬回数の変化	無			
⑰ その他 ※具体的に記入				
⑱ その他 ※具体的に記入				
⑲ その他 ※具体的に記入				

■施工実態の変化について、何かご意見があれば自由にご記入下さい。

例：新技術の●●●が採用されると、生産性が向上する。

変化があった場合、生産性向上又は生産性低下のいずれかの「○」を選択して下さい。
なお、変化がない場合は「空欄」のままで結構です。

【様式4】規格間格差に関するアンケート	記入例	鉄筋
----------------------------	------------	-----------

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

■規格間格差についてのアンケートです。下記項目についてご回答下さい。

1. 単価について 代表仕様およびその他の仕様について、単価をご回答下さい。

No.	名称・規格				単価 (円/ t)
①	RC造	ラーメン構造	地下軸部	階高5.0m程度	¥55,000
②	RC造	ラーメン構造	地上軸部	階高2.8m程度	¥48,000
代表仕様	RC造	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度 鉄筋径D10~D32	¥48,000
③	RC造	壁式構造	地上軸部	階高2.8m程度	¥65,000
④	S造	スラブ配筋のみ			¥30,000
5	SRC造	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥50,000
6	スパイラルフープ取付け	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥36,000

貴社の一般的な取引価格をご回答下さい。

2. 現場組立ての日当り施工量についてご回答下さい。

No.	名称・規格					日当り施工量 (t/人・日)
1	RC造	ラーメン構造	地上軸部	スラブ、壁等を想定	細物 (D10~D16)	0.2
2	RC造	ラーメン構造	地上軸部	柱、梁等を想定	太物 (D19~)	0.5
3	SRC造	ラーメン構造	地上軸部	スラブ、壁等を想定	細物 (D10~D16)	0.2
4	SRC造	ラーメン構造	地上軸部	柱、梁等を想定	太物 (D19~)	0.5

3. スリーブ補強 (梁貫通孔補強) についてご回答下さい。

NO.	規格	単位	単価 (円/箇所)		備考
			在来工法 (加工組立)	既製品 (設置手間のみ)	既製品の場合の製品名
1	100角又はΦ100	箇所	¥1,500	¥1,050	ウエブレン
2	200角又はΦ200	箇所	¥1,900	¥1,330	リンブレン
3	300角又はΦ300	箇所	¥2,200	¥1,540	ダイヤレン
4	350角又はΦ350	箇所	¥2,500	¥1,750	スーパーハリーZ
5	450角又はΦ450	箇所	¥2,900	¥2,030	エスパーガード
6	600角又はΦ600	箇所	¥3,700	¥2,590	リバーレン

使用することが多い製品名をご回答下さい。

4. 貴社が職人に支払っている、おおよその平均日給 (手当、賞与等含む) を可能であればご回答下さい。

例：手元：20,000円 鉄筋工：25,000円~30,000円 など。

5. その他

(1) 組立て太物を圧継手の場合に比べ、重ね継手などの程度歩掛りに影響がありますか？

例：太物の重ね継手は、ほとんど施工しない。施工した場合は、1割増しぐらい。

(2) RC造ラーメン構造に比べ、鉄筋の配筋で床だけの場合 (S造スラブ)、どの程度作業量に影響・変化がありますか？

例：歩掛はRC造の6割程度となる。

(3) 小規模 (30t未満) の場合、300 t 程度の物件に比べて、どの程度労務歩掛りに影響がありますか？

例：歩掛は、300 t に比べ、3倍程度の割り増し。

(4) 機械式継手の導入により、どの程度労務歩掛りに影響がありますか？

例：材料価格は高くなるが、効率が良くなり歩掛は〇〇%軽減できる。材工共でコストは変わらずとも工期短縮に寄与する。

(5) 機械式継手は、鉄筋径が何ミリから使用しますか？

例：35mm以上で使用するが多い。

【ガス圧接工事】

次のシート以降に必要な事項をご回答下さい。

【様式 1 - 1】施工箇所別概要	記入例	圧接
--------------------------	-----	----

建物 1 棟を施工するに当たり、圧接総量で作業員何人で何日かかるか、歩掛りを把握するための調査票です。下記項目について該当する部分のみご回答下さい。

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

1. 総合工事業者と1次下請間の圧接工事の契約金額（税抜き）をご回答下さい。

¥2,600,000	円
------------	---

施工箇所毎にご回答下さい。

2. 施工箇所毎の数量をご回答下さい。

項 目		単位	基礎部	柱	梁
ガス圧接 加圧・加熱等 <small>(圧接端面処理含む)</small>	工事全体の施工日数	施工箇所毎のトータル日数をご回答下さい。	4	13	5
	工事全体の施工量		588	1908	699
	D19-D19	箇所			3
	D22-D22	箇所	132	84	696
	D25-D25	箇所	456	1824	
	D29-D29	箇所			
	D32-D32	箇所			
	D35-D35	箇所			
	D38-D38	箇所			
	D41-D41	箇所			
	D51-D51	箇所			
	D19-D22	箇所			
	D22-D25	箇所			
	D25-D29	箇所			
	D29-D32	箇所			
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	2	2	2
雑費	運搬費 機械器具等の現場への運搬費等	円			
	機械損料 持込み専用機械の損料	円			
諸経費率	※「様式1-2」でご回答下さい。	%			

施工箇所毎のトータル施工量をご回答下さい。

雑費は、当該工事で計上する金額をご回答下さい。

【様式 1 - 2】 諸経費率

記入例

圧接

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

各種経費について貴社の率をご回答下さい。

・ガス圧接

①諸経費率	(労務費 + 雑費) ×	25	%
-------	--------------	----	---

※各率の内訳は下表による。

対象となる項目は、○を選択して下さい。

①諸経費の内訳 記入された率に含む項目は対象欄から○を選択して下さい。

①-1 現場管理費の項目	内容	対象
1 労務管理費	現場雇用労働者（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する労働者）および現場労働者（再下請を含む下請負契約に基づき現場労働に従事する労働者）の労務管理に要する費用 ・募集および解散に要する費用 ・慰安、娯楽および厚生に要する費用 ・純工事費に含まれない作業用具および作業用被服等の費用 ・賞金以外の食事、通勤費等に要する費用 ・安全、衛生に要する費用および研修訓練等に要する費用 ・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○
2 租税公課	工事契約書等の印紙代、申請書・謄抄本登記等の証紙代、固定資産税・自動車税等の租税公課、諸官公署手続き費用	○
3 保険料	火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、賠償責任保険および法定外の労災保険の保険料	○
4 従業員給与と手当	現場従業員（元請企業の社員）および現場雇用労働者の給与、諸手当（交通費、住宅手当等）および賞与施工図等作成費施工図等を外注した場合の費用	○
5 退職金	現場従業員に対する退職給付引当金繰入額および現場雇用労働者の退職金	○
6 法定福利費	雇用労働者および現場労働者に関する次の費用 ・現場従業員、現場雇用労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額 ・現場労働者に関する労災保険料の事業主負担額 ・建設業退職金共済制度に基づく証紙購入代金	○
7 福利厚生費	現場従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、慶弔見舞等に要する費用	○
8 事務用品費	事務用消耗品費、O A 機器等の事務用備品費、新聞・図書・雑誌等の購入費、工事写真代等の費用	○
9 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
10 補償費	工事施工に伴って通常発生する騒音、振動、濁水、工事用車両の通行等に対して、近隣の第三者に支払われる補償費。ただし、電波障害等に関する補償費を除く。	○
11 その他	会議費、式典費、工事実績の登録等に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用	○

①-2 一般管理費等の項目	内 容	対象
1 役員報酬	取締役および監査役に要する報酬および賞与（損金算入分）	○
2 従業員給与と手当	本店および支店の従業員に対する給与、諸手当および賞与（賞与引当金繰入額を含む。）	○
3 退職金	本店および支店の役員および従業員に対する退職金（退職給与引当金繰入額および退職年金掛金を含む）	○
4 法定福利費	本店および支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額	○
5 福利厚生費	本店および支店の従業員に対する慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等の福利厚生等に要する費用	○
6 維持修繕費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○
7 事務用品費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品、新聞参考図書等の購入費	○
8 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
9 動力用水光熱費	電力、水道、ガス等の費用	○
10 調査研究費	技術研究、開発等の費用	○
11 広告宣伝費	広告、公告又は宣伝に要する費用	○
12 交際費	得意先、来客等の接待、慶弔見舞等に要する費用	○
13 寄付金	社会福祉団体等に対する寄付	○
14 地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○
15 原価償却費	建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○
16 試験研究償却費	新製品又は新技術の研究のための特別に支出した費用の償却額	○
17 開発償却費	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発並びに市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	○
18 租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税および道路占有料その他の公課	○
19 保険料	火災保険その他の損害保険料	○
20 契約保証費	契約の保証に必要な費用	○
21 雑費	社内打合せの費用、諸団体会費等の上記のいずれの項目にも属さない費用	○
22 付加利益	法人税、都道府県民税、市町村民税等（租税公課に含むものを除く） 株主配当金 役員賞与（損金算入分を除く） 内部留保金・支払利息および割引料、支払保証料その他の営業外費用	○

【様式 1 - 3】使用材料等調査票

記入例

圧接

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いいたします。

1. 工事全体の使用材料をご回答下さい。

番号	材料名	容量	単価 (円/本)	単位	使用数量 (本)
1	酸素	47リットル	¥15,510	本	4.0
2	アセチレンガス	7kg	¥11,200	本	4.5
3					
4	水素エチレン		〇〇	本	3.0
5	高分子ガス		〇〇	本	3.0
6					
7					
8					
9					

工事全体で使用したポンペの本数をご回答下さい。

2. 工事全体の使用機械等をご回答下さい。

番号	使用機械	規格・メーカー名・型式	保有区分	単位	延べ使用台数
1	手動圧接器		自社保有	台	6
2	冷間直角切断機		自社保有	台	6
3	ディスクグラインダー		自社保有	台	6
4					
5					
6					
7					
8					

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
・自社保有
・リース

工事全体で使用した台数をご回答下さい。

■材料、機械等の率

単価のご記入が難しい場合、労務費に対する率でご回答下さい。

$$(\text{労務費}) \times \boxed{10} \%$$

【様式2】歩掛り調査票（ガス圧接）

記入例

圧接

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

本調査票には、様式1-1圧接の内訳についてご回答下さい。
 当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。
標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

・外注の方も含めてご記入下さい。

D25-25を施工した合計日数をご回答下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。

・標題作業の1日についてご回答下さい。

1. 圧接

D25-D25	項目等		数量等	備考					
全般	ガス圧接でかかった合計日数		15	日 当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。					
日当り施工量等	日当り平均圧接箇所数（平均）		150	箇所/日					
施工時間	現場始業時間		8:00	朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。					
	現場終業時間		17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。					
	朝礼・K Y等時間		10分						
	準備・片付け		10分						
	休憩時間（昼休み含む）		120分						
日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）		7時間00分							
労務編成人員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	職種		主たる作業	主たる作業以外	年齢	経験年数	備考		
	1	溶接工	圧接	7時間00分		31~40歳	10~20年未満		
	2	溶接工	圧接	6時間00分	水平小運搬	1時間00分	41~50歳	20年以上	
	3	普通作業員	水平小運搬	4時間00分	圧接準備	3時間00分	21~30歳	3~7年未満	
	4							【作業時間】 ▼から時間を選択	
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14	溶接工	圧接	3時間30分			21~30歳	7~10年未満	
15									
機械器具等 機械編成 （主要・補助機械） 【平均一日当り】	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考			
	1	手動圧接器	自社保有	7 h/日	1	台			
	2	冷間直角切断機	自社保有	7 h/日	1	台			
	3	ディスクグラインダー	自社保有	7 h/日	1	台			
	4	○○○	リース	3 h/日	1	台			
	5					台			
	6					台			
7					台				

入力手順：1

- 現場始業時間
- 現場終業時間
- 朝礼・K Y等時間
- 準備・片付け
- 休憩時間

入力手順：2

- 職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
- 作業内容も選択して下さい。

圧接の職種は、溶接工となります。

入力手順：3

- 主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
- 上記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4

- 応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。 ※3時間30分の場合は、3:30 と入力して下さい。
- （工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が3.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【職種】▼をクリックして以下から選択
 ・溶接工
 ・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
 ・圧接
 ・端面処理
 ・水平小運搬

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
 ・手動圧接器
 ・冷間直角切断機
 ・ディスクグラインダー

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
 ・自社保有
 ・リース

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
 ・0~3年未満
 ・3~7年未満
 ・7~10年未満
 ・10~20年未満
 ・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
 ・15~20歳
 ・21~30歳
 ・31~40歳
 ・41歳~50歳
 ・51歳~60歳
 ・61歳~70歳
 ・71歳以上

注) 労務編成人員の作業内容は、必ずご回答下さい。

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【様式3】施工実態に関するアンケート	記入例	圧接
---------------------------	-----	----

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

ガス圧接工事は平成12年度より市場単価方式に移行していますが、移行後から現在に至るまでに技術基準等の改定、新技術・新工法の開発による技術動向の変化、社会的環境の変化等により、施工実態に変化はありましたか。

変化があった場合、下記項目について影響の有無を選択し、影響がある場合に生産性が向上したか低下したかに○をつけて下さい。

また、具体例についてもご回答下さい。

■施工実態の変化について

約20年前と比較して、施工実態に変化がありましたか？

変化あり 変化なし

○

対象となる項目の▼をクリックして「○」を選択

項目	影響の有無	生産性向上	生産性低下	具体例
① A級継手（通常の圧接に比べて、継手可能範囲の制約が少なくなる）	有	○		
② 地面で先組みして圧接する	有	○		現場内移動が少なくなり、効率的に圧接できる。
③ 空調服の導入	無			
④ コロナの影響	無			
⑤ 高齢化による影響	有		○	体力が無くなり、作業が遅くなった。
⑥ 担い手不足	無			
⑦ 外国人材（技能実習生を含む）	無			
⑧ 週休2日（4週8閉所、6閉所などの休日の増加）	無			
⑨ 暑さ、寒さ等の気候による歩掛りへの影響	有		○	猛暑による体力低下。
⑩ 休憩時間の増加	無			
⑪ 地域による歩掛りへの影響	無			
⑫ 現場のストックヤードや作業スペースの減少	無			
⑬ その他 ※具体的に記入				
⑭ その他 ※具体的に記入				
⑮ その他 ※具体的に記入				

【影響の有無】
▼をクリックして以下から選択
・有
・無

【生産性向上】
向上した場合は▼をクリックして「○」を選択

【生産性低下】
低下した場合は▼をクリックして「○」を選択

■施工実態の変化について、何かご意見があれば自由にご記入下さい。

例：新技術の●●●が採用されると、生産性が向上する。

【様式4】規格間格差に関するアンケート	記入例	圧接
----------------------------	------------	-----------

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

1. 径別で歩掛り設定するためのアンケートです。代表仕様およびその他の仕様について、単価および加熱時間をご回答下さい。

※A級継手ではなく通常の圧接が対象です。

貴社の一般的な取引価格をご回答下さい。
(A級継手ではなく通常の圧接が対象)

ガス圧接

No.	名称・規格				単価 (円/箇所)	加熱時間 (秒/箇所)
①	D19-D19	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥480	45
②	D22-D22	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥500	60
代表仕様	D25-D25	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥520	75
③	D29-D29	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥720	97.5
④	D32-D32	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥920	120
5	D35-D35	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥1,320	142.5
6	D38-D38	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥1,980	172.5
7	D41-D41	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥2,900	202.5

径違い

8	D19-D22	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥500	60
9	D22-D25	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥520	75
10	D25-D29	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥720	97.5
11	D29-D32	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥920	120
12	D32-D35	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥1,320	142.5
13	D35-D38	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥1,980	172.5
14	D38-D41	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥2,900	202.5

2. 貴社が職人に支払っている、おおよその平均日給（手当、賞与等含む）を可能であればご回答下さい。

例：手元：20,000円 溶接工（圧接工）：25,000円～30,000円 など。

3. 同じ径を圧接する場合、RC造とSRC造で1か所当たりの作業時間や施工単価に違いはあるかご回答下さい。

例：構造種別によらず、同じ。

【型枠工事】

次のシート以降に必要な事項をご回答下さい。

【様式1-1】施工箇所別概要

記入例

型枠

建物1棟を施工するに当たり、型枠量総量で作業員何人で何日かかるか、また、運搬費などの歩掛りを把握するための調査票です。
下記項目について該当する部分のみご回答下さい。

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いいたします。

1. 総合工事業者と1次下請間の型枠工事の契約金額（材料費共、税抜き）をご回答下さい。

¥64,000,000	円
-------------	---

【契約金額の数量】
▼をクリックして以下から選択
・①積算数量（加工等の損耗を含まない数量）
・②実数量（加工等の損耗を含む数量）

2. 上記契約金額は、次のどちらの数量で契約していますか。

①積算数量（加工等の損耗を含まない数量）、②実数量（加工等の損耗を含む数量）

①積算数量（加工等の損耗を含まない数量）

3. 施工箇所毎の数量をご回答下さい。上記2で選択した数量をご回答下さい。

施工箇所毎にご回答下さい。

部位別に、施工日数、施工量等が分からない場合は、合計欄に直接入力して下さい。

項目		単位	基礎部	地下軸部	地上軸部	合計
置場加工（下拵え）	工事全体の施工日数	日	10		17	27
	工事全体の施工量	m ²	1322.1		5587	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	8.5		8.5	
現場加工（下拵え）	工事全体の施工日数	日				0
	工事全体の施工量	m ²				
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日				
組立	工事全体の施工日数	日	8		100	
	工事全体の施工量	m ²	1322.1		11174.53	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	8.5		8.5	
解体清掃	工事全体の施工日数	日	3		12	
	工事全体の施工量	m ²	1322.1		11174.53	
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	8.5		8.5	17
コンクリート合番 (コンクリート打設時の型枠点検保守)	工事全体の合番日数	日	2		4	6
	工事全体の合番時間	時間	16		32	48
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	1		1	2
合計	工事全体の施工日数	日	23	0	133	156
	工事全体の施工量	m ²	1322.1	0	11174.53	12496.63
	1日当たりの作業員数（平均）	人/日	26.5	0	26.5	53
雑費	専用機械の損料	円				
	製作図等（型枠下拵え図など）	円				
諸経費率	※「様式1-2」でご回答下さい。	%				

施工箇所毎のトータル日数をご回答下さい。

実際に加工した型枠の面積をご回答下さい。
※積算数量を当該現場の転用回数で割った数量に近似すると思われます。

実際に組立した型枠の面積をご回答下さい。
※積算数量に近似すると思われます。

1日当たりの平均作業員数をご回答下さい。

現場で合板や桧木を切断し、パネル状に加工した場合は、現場加工にご記入下さい。
無い場合は空欄で結構です。

現場合わせの切断加工等は、組立に含めて下さい。

雑費は、当該工事で計上する金額をご回答下さい。

実際に運搬した型枠の面積をご回答下さい。
※積算数量を当該現場の転用回数で割った数量に近似すると思われます。

特殊事情が無い限り、トラック1台

型枠運搬		単位	基礎部	地下軸部	地上軸部
工事全体の運搬		m ²	1322.1		5587.265
運搬距離	加工場/現場 内運	km		30	
運搬区分	(自社)	-	-	-	-
運転手	(一般)	人	4		28
運搬台数	(4 t 車)	延べ台数			
	(10 t 車)	延べ台数	4		28
	その他 ()	延べ台数			
積載量	(4 t 車)	m ² /台	85		
	(10 t 車)	m ² /台	400		400
	その他 ()	m ² /台			
運搬区分が「外注」の場合	(その他 ※下記に記入)	円/m ²			
	(7 t)				

①モデル建物は基準距離30km以内とし、現場には置場および作業スペースがある事を前提にご回答下さい。
②貴社実績の場合はその事例の実情でご回答下さい。

運搬にかかった延べ台数をご回答下さい。

1台当たりの積載可能数量をm²数でご回答下さい。

【運搬区分】▼をクリックして以下から選択
・自社
・外注

【運転手】▼をクリックして以下から選択
・一般
・特殊

【運搬区分が「外注」の場合】▼をクリックして以下から選択
・4 t 車
・7 t 車
・その他 ※下記に記入

【様式1-2】諸経費率

記入例

型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

各種経費について貴社の率をご回答下さい。

・型枠組立

①諸経費率	(労務費 + 材料費 + 雑費) ×	25	%
-------	--------------------	----	---

※各率の内訳は下表による。

対象となる項目は、○を選択して下さい。

①諸経費の内訳 記入された率に含む項目は対象欄から○を選択して下さい。

①-1 現場管理費の項目	内容	対象
1 労務管理費	現場雇用労働者（各現場で元請企業が臨時に直接雇用する労働者）および現場労働者（再下請を含む下請負契約に基づき現場労働に従事する労働者）の労務管理に要する費用 ・募集および解散に要する費用 ・慰安、娯楽および厚生に要する費用 ・純工事費に含まれない作業用具および作業用被服等の費用 ・賞金以外の食事、通勤費等に要する費用 ・安全、衛生に要する費用および研修訓練等に要する費用 ・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○
2 租税公課	工事契約書等の印紙代、申請書・謄抄本登記等の証紙代、固定資産税・自動車税等の租税公課、諸官公署手続き費用	○
3 保険料	火災保険、工事保険、自動車保険、組立保険、賠償責任保険および法定外の労災保険の保険料	○
4 従業員給与と手当	現場従業員（元請企業の社員）および現場雇用労働者の給与、諸手当（交通費、住宅手当等）および賞与施工図等作成費施工図等を外注した場合の費用	○
5 退職金	現場従業員に対する退職給付引当金繰入額および現場雇用労働者の退職金	○
6 法定福利費	雇用労働者および現場労働者に関する次の費用 ・現場従業員、現場雇用労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額 ・現場労働者に関する労災保険料の事業主負担額 ・建設業退職金共済制度に基づく証紙購入代金	○
7 福利厚生費	現場従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、慶弔見舞等に要する費用	○
8 事務用品費	事務用消耗品費、O A 機器等の事務用備品費、新聞・図書・雑誌等の購入費、工事写真代等の費用	○
9 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
10 補償費	工事施工に伴って通常発生する騒音、振動、濁水、工事用車両の通行等に対して、近隣の第三者に支払われる補償費。ただし、電波障害等に関する補償費を除く。	○
11 その他	会議費、式典費、工事実績の登録等に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用	○

対象となる項目は▼をクリックして「○」を選択

①-2 一般管理費等の項目	内容	対象
1 役員報酬	取締役および監査役に要する報酬および賞与（損金算入分）	○
2 従業員給与と手当	本店および支店の従業員に対する給与、諸手当および賞与（賞与引当金繰入額を含む。）	○
3 退職金	本店および支店の役員および従業員に対する退職金（退職給与引当金繰入額および退職年金掛金を含む）	○
4 法定福利費	本店および支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料および厚生年金保険料の事業主負担額	○
5 福利厚生費	本店および支店の従業員に対する慰安、娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等の福利厚生等に要する費用	○
6 維持修繕費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○
7 事務用品費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品、新聞参考図書等の購入費	○
8 通信交通費	通信費、旅費および交通費	○
9 動力用水光熱費	電力、水道、ガス等の費用	○
10 調査研究費	技術研究、開発等の費用	○
11 広告宣伝費	広告、公告又は宣伝に要する費用	○
12 交際費	得意先、来客等の接待、慶弔見舞等に要する費用	○
13 寄付金	社会福祉団体等に対する寄付	○
14 地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○
15 原価償却費	建物、車両、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○
16 試験研究償却費	新製品又は新技術の研究のための特別に支出した費用の償却額	○
17 開発償却費	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発並びに市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	○
18 租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税および道路占有料その他の公課	○
19 保険料	火災保険その他の損害保険料	○
20 契約保証費	契約の保証に必要な費用	○
21 雑費	社内打合せの費用、諸団体会費等の上記のいずれの項目にも属さない費用	○
22 付加利益	法人税、都道府県民税、市町村民税等（租税公課に含むものを除く） 株主配当金 役員賞与（損金算入分を除く） 内部留保金・支払利息および割引料、支払保証料その他の営業外費用	○

【様式 1 - 3】使用材料等調査票	記入例	型枠
---------------------------	------------	-----------

※黄色の箇所は記入するようお願いします。

※工事全体の使用材料をご回答下さい。

■主材料

番号	名称	規格・メーカー名・型式	単位	基礎部			地下軸部			地上軸部		
				積算数量 <small>(※注記1参照)</small>	割増率 <small>(※注記1参照)</small>	転用回数 <small>(当該現場のみ)</small>	積算数量 <small>(※注記1参照)</small>	割増率 <small>(※注記1参照)</small>	転用回数 <small>(当該現場のみ)</small>	積算数量 <small>(※注記1参照)</small>	割増率 <small>(※注記1参照)</small>	転用回数 <small>(当該現場のみ)</small>
1	普通合板型枠	無塗装 B-C 12*900*1800	m2	1001	5%	0				10636	5%	1
2	普通合板型枠	無塗装 B-C 12*600*1800	m2									
3	普通合板型枠	表面加工品 12*900*1800	m2									
4	普通合板型枠	表面加工品 12*600*1800	m2									
5	打放し型枠A種	表面加工品 12*900*1800	m2									
6	打放し型枠A種	表面加工品 12*600*1800	m2									
7	打放し型枠B種	表面加工品 12*900*1800	m2	20.3	6%	0				539.2	6%	1
8	打放し型枠B種	表面加工品 12*600*1800	m2									
9	打放し型枠B種	無塗装 B-C 12*900*1800	m2	300	6%	0						
10	打放し型枠B種	無塗装 B-C 12*600*1800	m2									
11	打放し型枠C種	無塗装 B-C 12*900*1800	m2									
12	打放し型枠C種	無塗装 B-C 12*600*1800	m2									
13	打放し型枠C種	表面加工品 12*900*1800	m2									
14	打放し型枠C種	表面加工品 12*600*1800	m2									
15	パネル型枠	表面加工品 12*900*1800	m2									
16												
17												
18												
19												
小計				1,321.3			0.0			11,175.2		

・積算数量に対して歩留まりを加味した割増率として下さい。
割増率の計算方法
積算数量1,000m2で、実際に使用する型枠数量1,050m2の場合
計算例：(1050-1000) / 1000 * 100 = 5%
(新材、中古材を含めた数量で算出して下さい。)

コンパネのサイズごとの数量が不明な場合は、900 * 1800サイズで面積をご回答下さい。

転用回数について
・「当該現場のみ」の転用回数とは、この現場での使用回数のごことです。
1階と3階で使用した場合は、1回となります。

クンパネル等の既製品を利用している場合は、ご回答下さい。

※注記1

・積算数量とは、加工時の損耗（切り無駄）や施工中の損耗（想定する転用回数に満たずに廃棄が必要になるもの）を含まない計算（計画）数量とします。

・割増率とは、積算数量に加工時の損耗（切り無駄）や、施工中の損耗（想定する転用回数に満たずに廃棄が必要になるもの）を加味し、積算数量より多く準備する型枠の数量を率で表したものです。

・補助材の積算数量とは、**実際現場に搬入する数量ではなく、のべ使用数量**をご回答下さい。（（切り無駄）や施工中の損耗（想定する転用回数に満たずに廃棄が必要になるもの）を含まない）

■補助材

番号	名称	規格・メーカー名・型式	単位	基礎部		地下軸部		地上軸部	
				積算数量 <small>(※注記2参照)</small>	損耗率 <small>(※注記2参照)</small>	積算数量 <small>(※注記2参照)</small>	損耗率 <small>(※注記2参照)</small>	積算数量 <small>(※注記2参照)</small>	損耗率 <small>(※注記2参照)</small>
20	さん材（桧木）	××	m	1322	5%			11175	5%
21	角材（バタ角）	〇〇	m	660	5%			5588	5%
22	バタパイプ（単管）	▲▲	m	39	1%			2128	1%
23	パイプサポート	■■	本	400	1%			800	1%
24	セパレータ	ボルト式	個	376				16260	
25	フォームタイ	座金とも	本	225	20%			9753	20%
26	コーン	◇◇	個	8000	20%			67000	20%
27	くぎ金物	◆◆	kg	3				503	
28	はく離材	◎◎	L	3				224	
29									
30	水切り目地	◎◎	m	0				400	
31									
32									
33									
34									

・損耗率は、一般的に何回くらい使用してから、破棄するかを想定してご回答下さい。
損耗率の計算方法
5回使用して廃棄する場合。
計算例：1/5回 * 100 = 20%

※注記2

・積算数量とは、加工時の損耗（切り無駄）や施工中の損耗（想定する転用回数に満たずに廃棄が必要になるもの）を含まない計算（計画）数量とします。

・損耗率とは、補助材を何回使用してから破棄するかを率で表したものです。

■補助材の金額の目安について（補助材の数量の記入が難しい場合）

労務費と主材料費の合計額に対する率をご回答下さい。

(労務費 + 主材料費) × 8 %

・数量のご回答が難しい場合、労務費と主材料費の合計額に対する率をご回答下さい。

【様式2-1】歩掛り調査票（置場加工（下拵え））

記入例

型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

本調査票には、様式1-1置場加工（下拵え）の内訳についてご回答下さい。
 当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。

標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

置場加工（下拵え）でかかった合計日数をご回答下さい。
 ※様式1-1でご記入いただいた日数が自動計算されます。

置場加工（下拵え）の日当り加工面積（平均）をご回答下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。

・標題作業の1日についてご回答下さい。

1. 置場加工（下拵え）

項目等		数量等	備考			
全般	置場加工（下拵え）でかかった合計日数	27 日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。			
日当り施工量等	置場加工（下拵え）の日当り加工面積（平均）	255 m ² /日	30m ² /人×8.5人=255m ² （加工歩掛）			
施工時間	現場始業時間	8:00	朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。			
	現場終業時間	17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。			
	朝礼・K Y等時間	10分				
	準備・片付け	10分				
	休憩時間（昼休み含む）	120分				
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）	7時間00分				
	番号	職種	主たる作業 作業内容 作業時間	主たる作業以外 作業内容 作業時間	年齢	経験年数
1	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		41～50歳	20年以上	
2	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		41～50歳	10～20年未満	
3	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		41～50歳	10～20年未満	
4	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		31～40歳	10～20年未満	
5	型わく工	置場加工（下拵え） 6時間00分	水平小運搬	41～50歳	10～20年未満	
6	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		61～70歳	20年以上	
7	型わく工	置場加工（下拵え） 7時間00分		21～30歳	3～7年未満	
8	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		15～20歳	0～3年未満	
9						
10						
11						
12						
13						
14	型わく工	置場加工（下拵え） 3時間30分		41～50歳	10～20年未満	
15						
番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考	
1	丸ノコ	自社保有	7 h/日	3 台		
2	釘打機	自社保有	7 h/日	4 台		
3	〇〇〇	リース	3 h/日	2 台		
4						
5						
6						
7						

▼をクリックして以下から選択
 ・型わく工
 ・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
 ・置場加工（下拵え）
 ・組立
 ・水平小運搬

入力手順：1
 ・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
 ・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
 ・休憩時間を選択します。
 ・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
 ・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
 ・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
 ・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
 ・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
 ・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。 ※3時間30分の場合は、3：30 と入力して下さい。
 （工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
 ・0～3年未満
 ・3～7年未満
 ・7～10年未満
 ・10～20年未満
 ・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
 ・15～20歳
 ・21～30歳
 ・31～40歳
 ・41歳～50歳
 ・51歳～60歳
 ・61歳～70歳
 ・71歳以上

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
 ・丸ノコ
 ・釘打機

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
 ・自社保有
 ・リース

注）労務 編成人員の作業内容は、必ずご回答下さい。

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【様式2-2】歩掛り調査票（現場加工（下拵え））

記入例

型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

本調査票には、様式1-1現場加工（下拵え）の内訳についてご回答下さい。

当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。

標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

1. 現場加工（下拵え）

項目等		数量等	備考				
全般	現場加工（下拵え）でかかった合計日数	0 日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。				
日当り施工量等	現場加工（下拵え）の日当り加工面積（平均）	10 m ² /日					
施工時間	現場始業時間	8:00	朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。				
	現場終業時間	17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。				
	朝礼・K Y等時間	10分					
	準備・片付け	10分					
	休憩時間（昼休み含む）	120分					
日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）		7時間00分					
労働編成人員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下拵え等も含めてご回答下さい。	番号	職種	主たる作業	主たる作業以外	年齢	経験年数	備考
	1	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	41～50歳	20年以上	
	2	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	41～50歳	10～20年未満	
	3	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	41～50歳	10～20年未満	
	4	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	31～40歳	10～20年未満	
	5	型枠工	現場加工（下拵え）	水平小運搬	41～50歳	10～20年未満	
	6	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	61～70歳	20年以上	
	7	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	21～30歳	3～7年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
	8	普通作業員	水平小運搬	水平小運搬	15～20歳	0～3年未満	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14	型枠工	現場加工（下拵え）	現場加工（下拵え）	41～50歳	10～20年未満	
15							
機械器具等 機械編成（主要・補助機械） 【平均一日当り】	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考	
	1	丸ノコ	自社保有	6 h/日	2 台		
	2	釘打機	自社保有	6 h/日	3 台		
	3	釘打機	自社保有	3 h/日	1 台		
	4					・運転時間は、機械付けを含み、休憩時間を除きます。	
	5						
	6						
7							

現場加工（下拵え）でかかった合計日数をご回答下さい。
※様式1-1でご記入いただいた日数が自動計算されます。

現場加工（下拵え）の日当り加工面積（平均）をご回答下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。

・標題作業の1日についてご回答下さい。

【職種】▼をクリックして以下から選択
・型枠工
・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
・現場加工（下拵え）
・組立
・水平小運搬

入力手順：1
・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
・休憩時間を選択します。
・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。※3時間30分の場合は、3:30 と入力して下さい。
（工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
・0～3年未満
・3～7年未満
・7～10年未満
・10～20年未満
・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
・15～20歳
・21～30歳
・31～40歳
・41歳～50歳
・51歳～60歳
・61歳～70歳
・71歳以上

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
・丸ノコ
・釘打機

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
・自社保有
・リース

注）労務編成人員の作業内容は、必ずご回答下さい。

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連運材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【様式2-3】歩掛り調査票（組立）

記入例

型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いいたします。

本調査票には、様式1-1組立の内訳についてご回答下さい。
 当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。
標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

・外注の方も合めてご記入下さい。

組立でかかった合計日数をご回答下さい。
 ※様式1-1でご記入いただいた日数が自動計算されます。

・標題作業の合計についてご回答下さい。
 ・以下の標題についても同様です。

組立の日当り組立面積（平均）をご回答下さい。

1. 基礎

基礎		項目等	数量等	備考			
全般		組立でかかった合計日数	8 日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。			
日当り施工量等		組立の日当り組立面積（平均）	170 m ² /日	20m ² /人*8.5人=170m ²			
施工時間		現場始業時間	8:00	朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。			
		現場終業時間	17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。			
		朝礼・K Y等時間	10分				
		準備・片付け	10分				
		休憩時間（昼休み含む）	120分				
		日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）	7時間00分				
労務編成人員 【平均一日当り】 ※作業員1名毎にご回答下さい。 2次、3次下請け等も含めてご回答下さい。	番号	職種	主たる作業 作業内容 作業時間	主たる作業以外 作業内容 作業時間	年齢	経験年数	備考
	1	組立	組立 7時間00分		41~50歳	20年以上	
	2	型わく工	組立 7時間00分		41~50歳	10~20年未満	
	3	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		41~50歳	10~20年未満	
	4	型わく工	組立 7時間00分		31~40歳	10~20年未満	
	5	型わく工	組立 6時間00分	水平小運搬 1時間00分	41~50歳	10~20年未満	
	6	型わく工	組立 7時間00分		61~70歳	20年以上	
	7	型わく工	組立 7時間00分		21~30歳	3~7年未満	
	8	普通作業員	水平小運搬 7時間00分		15~20歳	0~3年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14	型わく工	組立 3時間30分		41~50歳	10~20年未満	
15							
機械器具等	番号	機械等名	保有区分	運転時間（平均）	台数	備考	
	1	丸ノコ	自社保有	6 h/日	3 台		
	2	釘打機	自社保有	6 h/日	4 台		
	3	●●●	自社保有	3 h/日	2 台		
	4			h/日		台	
	5						
	7						

注) 労務編成人員の作業内容は、必ずご回答下さい。

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

【職種】▼をクリックして以下から選択
 ・型わく工
 ・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
 ・組立
 ・水平小運搬

入力手順：1
 ・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
 ・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
 ・休憩時間を選択します。
 ・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
 ・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
 ・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
 ・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
 ・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
 ・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。※3時間30分の場合は、3:30 と入力して下さい。
 （工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

【経験年数】▼をクリックして以下から選択
 ・0~3年未満
 ・3~7年未満
 ・7~10年未満
 ・10~20年未満
 ・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
 ・15~20歳
 ・21~30歳
 ・31~40歳
 ・41歳~50歳
 ・51歳~60歳
 ・61歳~70歳
 ・71歳以上

【機械等名】▼をクリックして以下から選択
 ・丸ノコ
 ・釘打機

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
 ・自社保有
 ・リース

【様式2-4】歩掛り調査票（解体清掃） 記入例 型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いいたします。

本調査票には、様式1-1解体清掃の内訳についてご回答下さい。
 当該工種のうち、各作業区分毎の標準的な1日の各数量等をご回答下さい。

標準的な労務編成の記入が難しい場合は、工事全体に必要な人数（外注も含む）の合計を日数で割り戻してご回答下さい。

1. 基礎

基礎		項目等	数量等	備考
全般	解体清掃でかかった合計日数		3 日	当該作業のうち休日、中止、中断等を除きます。
日当り施工量等	解体清掃の日当り解体面積（平均）	▼から時間を選択	425 m ² /日	50m ² /人*8.5人=425m ² /日
施工時間	現場始業時間		8:00	朝礼・K Y、当該作業の準備を含んだ時間として下さい。
	現場終業時間		17:00	当該作業の片付けを含んだ時間として下さい。
	朝礼・K Y等時間		10分	
	準備・片付け		10分	
	休憩時間（昼休み含む）		120分	
	日当り平均施工時間（歩掛り対象時間）		7時間00分	

番号	職種	主たる作業		主たる作業以外		年齢	経年数	備考
		作業内容	作業時間	作業内容	作業時間			
1	型わく工	解体清掃	7時間00分			41~50歳	20年以上	
2	型わく工	解体清掃	7時間00分			41~50歳	10~20年未満	
3	型わく工	解体清掃	7時間00分			31~40歳	10~20年未満	
4	型わく工	解体清掃	7時間00分	水平小運搬	1時間00分	41~50歳	10~20年未満	
5	型わく工	解体清掃	6時間00分			61~70歳	20年以上	
6	型わく工	解体清掃	7時間00分			21~30歳	3~7年未満	朝礼・K Y、当該作業の準備、片付けを含み、休憩時間を除きます。
7	普通作業員	水平小運搬	7時間00分			15~20歳	0~3年未満	
8	普通作業員	水平小運搬	7時間00分			15~20歳	0~3年未満	
9								
10								
11								
12								
13								
14	型わく工	解体清掃	3時間30分			41~50歳	10~20年未満	
15								

番号	機械等名	保有区分		運転時間（平均）		台数		備考
		保有区分	保有区分	時間	単位	台数	単位	
1	●●●	自社保有		7	h/日	2	台	
2								
3								
4								
5								
6								
7								

注）労務 編成人員の作業内容は、必ずご回答下さい。

リース・レンタルとは、元請または下請がリース・レンタル専門事業者から機械および関連機材を借り受けた場合をいい、リース・レンタル専門事業者以外からそれらを借り受けた場合は、「自社保有」に区分して下さい。

・外注の方も含めてご記入下さい。

解体清掃でかかった合計日数をご回答下さい。
 ※様式1-1でご記入いただいた日数が自動計算されます。

解体清掃の日当り解体面積（平均）をご回答下さい。

・標題作業の合計についてご回答下さい。
 ・以下の標題についても同様です。

該当のある項目をご回答下さい。

入力手順：1
 ・現場始業時間、現場終業時間を選択します。
 ・朝礼・K Y等時間、準備・片付け時間を選択します。
 ・休憩時間を選択します。
 ・日当り平均施工時間が自動計算されます。

入力手順：2
 ・職種を選択すると主たる作業時間が表示されます。
 ・作業内容も選択して下さい。

入力手順：3
 ・主たる作業以外の作業を行った場合、作業内容を入力し作業時間を選択します。
 ・左記の主たる作業時間が自動計算されます。

入力手順：4
 ・応援等で他現場と掛け持ちして、労働時間が1日に満たない作業員がいる場合は、当該現場の作業時間を直接入力して下さい。 ※3時間30分の場合は、3：30 と入力して下さい。
 （工事全体の必要人数を合計日数で割り戻した人工数に端数が出た場合など。例：計算結果が8.5人の場合、0.5人工は番号14の事例の様に時間を直接入力）

・標題作業の1日についてご回答下さい。
 ・以下の標題についても同様です。

【経年数】▼をクリックして以下から選択
 ・0~3年未満
 ・3~7年未満
 ・7~10年未満
 ・10~20年未満
 ・20年以上

【年齢】▼をクリックして以下から選択
 ・15~20歳
 ・21~30歳
 ・31~40歳
 ・41歳~50歳
 ・51歳~60歳
 ・61歳~70歳
 ・71歳以上

【保有区分】▼をクリックして以下から選択
 ・自社保有
 ・リース

【職種】▼をクリックして以下から選択
 ・型わく工
 ・普通作業員

【作業内容】▼をクリックして以下から選択
 ・解体清掃
 ・水平小運搬

【様式3】施工実態に関するアンケート	記入例	型枠
---------------------------	-----	----

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

型枠工事は平成11年度より市場単価方式に移行していますが、移行後から現在に至るまでに技術基準等の改定、新技術・新工法の開発による技術動向の変化、社会的環境の変化等により、施工実態に変化はありましたか。

変化があった場合、下記項目について影響の有無を選択し、影響がある場合に生産性が向上したか低下したかに○をつけて下さい。

また、具体例についてもご回答下さい。

■施工実態の変化について

約20年前と比較して、施工実態に変化がありましたか？

変化あり 変化なし

対象となる項目の▼をクリックして「○」を選択

項目	影響の有無	生産性向上	生産性低下	具体例
① 加工場組立によるユニット化	有	○		現場での組立が効率化される。
② 現場組立作業の合理化	有	○		半製品を現場で組立するため施工性が良い。
③ 半製品の購入（ケンパネルなど）	無			【生産性向上】 向上した場合は▼をクリックして「○」を選択
④ コンパネの転用回数の変化	無			
⑤ デッキプレートの使用	有	○		型枠を解体する必要が無い。
⑥ 空調服の導入	無			【影響の有無】 ▼をクリックして以下から選択 ・有 ・無
⑦ コロナの影響	無			
⑧ 高齢化による影響	有		○	
⑨ 担い手不足	有		○	【生産性低下】 低下した場合は▼をクリックして「○」を選択
⑩ 外国人材（技能実習生を含む）	無			
⑪ 週休2日（4週8閉所、6閉所などの休日の増加）	無			
⑫ 暑さ、寒さ等の気候による歩掛への影響	無			
⑬ 休憩時間の増加	無			
⑭ 地域による歩掛への影響	無			
⑮ 現場のストックヤードや作業スペースの減少	有		○	
⑯ 運搬回数の変化	無			
⑰ その他 ※具体的に記入	有	○		解体の手間が無いので施工性が良い。
⑱ その他 ※具体的に記入				
⑲ その他 ※具体的に記入				

■施工実態の変化について、何かご意見があれば自由にご記入下さい。

例：新技術の●●●が採用されると、生産性が向上する。

【様式4】規格間格差に関するアンケート 記入例 型枠

※水色の箇所はプルダウンメニューから選択して下さい。黄色の箇所は記入するようお願いします。

■規格間格差についてのアンケートです。下記項目についてご回答下さい。

左記の材工単価の内訳配分について、ご回答下さい。

1. 単価について 代表仕様のモデル建物（4階建）を想定し、その他の仕様について、単価と内訳（%）をご回答下さい。

No.	名称・規格				材工単価 (円/m ²)	左記内訳 (%)			
	材料	加工組立	解体清掃	諸経費					
①	普通合板型枠	ラーメン構造	基礎部	高さ3.0m以内	¥4,100	20%	40%	20%	20%
②	普通合板型枠	ラーメン構造	地下軸部	階高5.0m程度	¥5,550	30%	35%	15%	20%
代表仕様	普通合板型枠	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥4,950	27%	45%	15%	13%
③	普通合板型枠	ラーメン構造	地上軸部	階高2.8m程度	¥4,450	30%	35%	15%	20%
④	普通合板型枠	壁式構造	地上軸部	階高2.8m程度	¥4,450	30%	35%	15%	20%
⑤	普通合板型枠	ラーメン構造	地上軸部	階高4.5m程度	¥5,250	30%	35%	15%	10%
⑥	普通合板型枠	ラーメン構造	地上軸部	階高5.0m程度 (構台は別途)	¥5,550	30%	35%	15%	20%
⑦	打放し合板型枠A種	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥8,000	40%			20%
⑧	打放し合板型枠B種	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥5,150	27%			13%
⑨	打放し合板型枠C種	ラーメン構造	地上軸部	階高3.5~4.0m程度	¥5,100	30%	35%	15%	20%

内訳合計が100%にならないセルは薄赤色に表示されます。

2. 貴社が職人に支払っている、おおよその平均日給（手当、賞与等含む）を可能であればご回答下さい。

例：手元：20,000円 型わく工：25,000円~30,000円 など。

3. 型枠の現場加工、現場加工において、基礎、地下軸部、地上軸部で加工歩掛りは変わりますか？変わる場合は、どの程度変わるかご回答下さい。

例：変わらない。

例：地上軸部に比べて、地下軸部、基礎は10%程度、歩掛りが落ちる。

4. 下記の表で貴社の品質管理目標を踏まえて使用している型枠種別（目安）についてご回答下さい。

例：積算上は普通合板型枠で設定されているものでも、貴社の品質管理目標上、もしくは、元請との協議により打放し合板型枠B種相当で施工している場合は、打放し合板型枠B種を選択して下さい。

発注（積算）上の型枠種別	貴社の品質管理目標を踏まえた型枠種別（目安）	打放し仕上げの種別			
		種別	コンクリート面の仕上がり程度	せき板の程度	備考
普通合板型枠	打放し合板型枠B種	A種	目違い、不陸等のきわめて少ない良好な面とする。	表面加工品とし、ほとんど損傷のないものとする。	
打放し合板型枠A種	打放し合板型枠A種	B種	目違い、不陸等のきわめて少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする。	「コンクリート型枠用合板の日本農林規格」によるB-C程度。ほとんど損傷のないものとする。	
打放し合板型枠B種	打放し合板型枠B種	C種	打放しのままで、目違いは行っていないもの。	「コンクリート型枠用合板の日本農林規格」によるB-C程度。使用上差支えない程度のものであるものとする。	コーンは使用しない。
打放し合板型枠C種	打放し合板型枠C種				

5. 代表仕様の普通合板型枠に比べて、打放しA種とB種やC種とでは労務歩掛りにどの程度影響・変化がありますか？

例：A種は、普通合板型枠に比べて労務歩掛りが3割増したが、B種とC種は、普通合板型枠と労務歩掛りが同じ。

6. 代表仕様の階高3.5~4.0mに比べ、どの程度の階高から労務歩掛りに影響・変化がありますか？

労務歩掛りに影響がある階高と代表仕様（階高3.5~4.0m）に対する増減率をご回答下さい。

階高	2.8	m の場合	労務歩掛りが	%増	労務歩掛りが	10	%減
階高	4.4	m の場合	労務歩掛りが	10	%増	労務歩掛りが	%減
階高	5	m の場合	労務歩掛りが	20	%増	労務歩掛りが	%減

7. 2階以上（基準階）と比べ、地下階の作業は、どの程度 労務歩掛りに影響・変化がありますか？

労務歩掛りに影響がある場合は、どの程度影響があるかご回答下さい。

・地下階は、2階以上（基準階）に比べて 労務歩掛りが 10 %増 労務歩掛りが %減

8. コンパネの一般的な使用回数は何回ぐらいを想定していますか？（損耗率を求めるときの質問です。）

普通合板 3 回 塗装合板 4 回

一般的に、何回ぐらい使用してから、破棄するのを想定してご回答下さい。

9. 階数別の積載量と転用回数の確認（運搬費を求めるときの質問です。）

モデル建物（4階建て 型枠設計数量12,496.63m³）を基準として以下の階数の場合、物件全体で使用する延べ台数（4t車換算）はどのようになりますか？

以下の前提条件を踏まえて、貴社の考える転用回数を加味して運搬延べ台数をご回答下さい。

前提条件：①建築面積は同じで階数のみ変化、②運搬距離は片道30km、③搬入および搬去後の搬出を含む。④地下階は無し。

トラック4t車換算で何m²積載可能でしょうか？ 85 m² 4 t車/台に積載できる数量（パイプサポート等含む）をご回答下さい。

	2階建以下	3階建以下	4階建以下	5階建以下	6階建以下
1フロア当たりの想定型枠施工面積 (m ²)	3124	3124	3124	3124	3124
型枠施工総面積 (m ²)	6248	9372	12497	15621	18745
型枠の転用回数 (回)	0.0	0.4	0.8	1.2	1.5
運搬する型枠面積 (m ²) (転用回数を加味)	6248			7100	7498
運搬延べ台数 (トラック4t車換算)	74			84	88

入力不要です。型枠総面積を転用回数で除して、運搬する型枠面積を計算しています。

入力不要です。運搬する型枠面積を想定積載面積で除して、運搬台数を計算しています。

1回しか使用しない場合は、転用しないので「0」とご回答下さい。